

1. 内外政

- ・1日、ティモフティ大統領及びレアンカ首相は、フイーレ欧州委員及びEU各国外交団と共に、キシナウで開催された第9回「モルドバ・アクション・グループ」会合に出席。ティモフティ大統領は、モルドバはウクライナの領土一体性への完全な支持を表明する旨発言。
- ・3日、共産党は、キシナウ市内中心部において、与党連合の下で汚職状況が悪化しているとして、一部閣僚の解任等を要求する抗議運動を実施。
- ・5日、レアンカ首相は、トスク・ポーランド首相と電話会談を実施、モルドバの欧州統合に向けた司法及び農業分野改革における支援策等につき協議。

2. 沿ドニエストル

- ・4日、シェフチューク「大統領」は、沿ドニエストル国境強化の必要性に言及。同日、カルポフ再統合担当副首相は、ティラスポリにてシュタンスキ「外相」と会談、11、12両日予定の「5+2」者会談への沿ドニエストル側の参加問題等を協議。

3. 防衛

- ・4日、トロエンコ国防相は、NATO国防相会合に出席。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)